

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年3月7日

学) 清瀬学園 きよせ幼稚園

1. 本園の教育目標

強く＝健康でたくましい心と身体の子＝最後までやりぬく体力・気力＝忍耐力
 正しく＝正しく話し、正しく行動できる子＝人と上手にコミュニケーションをとる＝社会性
 美しく＝おもいやりのある美しい心の子＝気持ちをうまくコントロールする＝感情コントロール

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、感染症対策を徹底し、切れ目のない保育を提供することを心掛ける
 保育の可視化をすすめ、園の教育・運営に対して、ご家庭の理解を得る。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	保育カリキュラムの見直し	B	例年、大きな行事として10月に運動会、12月に発表会、2月に音楽会を実施してきたが、今年度からは、10月に運動会、2月に発表会とし、過程をより重視して進めてきた。
2	キッツフル教材の活用	C	キッツフル (ICT 教材) としたが、保育カリキュラムの見直しを行う時期と重なり、こちらの活用方法については少し機会が少なかったと感じる。来年度に向けて、学年主任と相談し進めていきたい。
3	安全管理	A	園バスの痛ましい事故を受け、引き続き園バス運行の安全管理を行ってきた。来年度は、園バス取り残し対策の機器を設置する。
4	個人記録	A	今年度より、おうちえん (連絡システム) に保護者のマイページを設定し、関係のあるドキュメンテーションや個人記録 (ポートフォリオ)、写真や動画を配信し、保育の過程やタイムリーな子どもたちの姿を共有することが出来た。卒園した後は、個人記録を保護者へ引継ぎ、家庭で記録を残していく設定となっている。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	保育カリキュラムの見直しにより、結果重視型からプロセス重視型へ移行する足掛かりの年となり、保育者にとっても、子どもたちにとっても、より生き生きと園で過ごす姿が見られるようになったと感じる。プロセス重視を行うには、保育の細かな記録、保育の可視化は必須事項であり、マイおうちえんを利用することにより、クリアすることが出来た。ドキュメンテーションや個人記録だけでなく、アルバム機能を活用し写真や動画等により、子どもたちの姿を、すべてのご家庭と共有することが出来た。年間行事予定表では行事は減ったように見えるが、各学年、保育参観でミニコンサートや組体操発表会、新入園児登園日で合奏や幼稚園説明ビデオ制作・上映等、これまでに見られない活動が展開された。大きな変化があった年度であったが、保護者の方の理解や先生方の協力もあり、終了することが出来そうである。来年度へ向けての土台として活かしていきたい。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	キットフル教材の活用	ICT教材の使い方 以下3点を重点的に取り組んでいく。 ① 一斉保育中での活用 ② 遊びの道具としての活用 ③ 保育展開としての活用 創造力、コミュニケーション能力を育み、自己肯定感を高める活動を展開していく。
2	安全管理	全国的にバスの置き去り事故や不審者の侵入事件や、遊具での事故の報道があった。当園としても子どもたちの安全管理の徹底を図っていく。 業者による遊具の長期的な定期健診を検討している。
3	保育の可視化	今年度行ってきたように、ポートフォリオ、ドキュメンテーション、写真動画を保護者と共有し、子どもの育ちを連携して見守っていく
4	一時預かり事業の充実	現在、一時預かり事業幼稚園型で在園児を対象に預かり保育を実施しているが、対象の拡大が出来るように検討していく。
5	学童事業 発達支援事業	学童事業や発達支援事業の検討を開始する。

6. 学校関係者評価委員会の評価

令和5年3月6日 評議委員会

コロナ禍の幼稚園の運営は、引き続き、難しいものであったと推察される。

行事については、カリキュラムの見直しに伴い、プロセスを大切に行われてきたことが、保育記録からも感じることが出来た。去年の反省を活かし、柔軟な対応を行えたが、今後は脱コロナに向け、行事のあり方も考えなければならない。5類への引き下げに合わせて、実施出来るように検討してもらいたい。

保育ドキュメンテーション・個人記録、アルバム機能を活用した保育の可視化は、保護者との子どもたちの成長の共有において、大きな効果があったと感じる。来年度も継続して行って頂きたい。引き続きの課題であるICT教材の活用について、未来を生きる子どもたちの力を育めるように、考えていってもらいたい。